

2020年度 日本産業衛生学会 東海地方会学会 プログラム

日 時： 2020年11月14日（土） 9:00 入室 開始
開催方式： Zoom によるオンライン開催

テーマ：「発想を拡げ、協力して産業衛生研究・実践を進めよう」

9:30～12:00 一般演題 （A会場・B会場）

12:00～12:45 東海地方の産業衛生を振り返る写真展 （A会場）

12:45～13:00 休憩

13:00～13:30 総会 （A会場）

13:30～13:35 地方会長挨拶 齊藤政彦（大同特殊鋼株式会社）

13:35～13:40 学会長挨拶 久永直見（CKD株式会社）

13:45～17:30 シンポジウム：発想を拡げ、協力を進めよう（A会場）

座長 尾島俊之（浜松医科大学）

榊原洋子（愛知教育大学）

講演1. 疫学研究にみる女性労働と妊娠・出産

上島通浩（名古屋市立大学）

講演2. 実践的放射線教育にみる児童の理解と行動 ～福島県二本松市の事例

木村真三（獨協医科大学）

調査・研究の企画提案

1. セルフケアのための食事チェック票の開発と実践：NCDs 発症予防（一次予防）の推進

中村美詠子（浜松医科大学）

2. コロナウイルス感染症対応：情報源調査

山本 誠（ヤマハ株式会社）

3. 産業現場における騒音曝露と内耳機能の現状調査

大神信孝（名古屋大学）

4. 新型コロナウイルス対策も踏まえた労働者の熱中症予防策の検討

成定明彦（愛知医科大学）

17:30 閉会

9 : 30 ~ 12 : 00 一般演題 プログラム

A会場

一般演題 1 : 座長 渡井いずみ (浜松医科大学) 9 : 30 - 10 : 28

101. 精神科領域における状態把握のための、定呼吸 (1回10秒) 下での心拍変動測定を試み

9 : 30 端谷 毅 (はしたにクリニック)

102. マインドフルネスを超える呼吸法 (心拍変動バイオフィードバック)

9 : 42 端谷 毅 (はしたにクリニック)

103. 職場における心理社会的安心・安全感 : 新しい職場ストレス研究の広がり

9 : 54 小林章雄 (一般社団法人医学と社会・連携支援機構)

104. 健康相談記録を用いたメンタルヘルス休務者の休務要因についての検討

10 : 06 森田涼介 (トヨタ自動車株式会社)

10 : 18 追加討論 (101~104)

一般演題 2 : 座長 上原 正道 (ブラザー工業株式会社) 10 : 28 - 11 : 00

105. 医療従事者におこった COVID-19 肺炎例への当院の対応

10 : 28 横山多佳子 (旭労災病院)

106. 労働者の糖尿病緊急症 (高血糖緊急症・低血糖) の検討

10 : 40 成定 明彦 (愛知医科大学)

10 : 52 追加討論 (105~106)

一般演題 3 : 座長 金 一成 (トヨタ自動車株式会社) 11 : 00 - 11 : 46

107. 馬尿酸高値者多発の特定職場への対応 (第1報) 作業場と作業状況等の個人要因の探求

11 : 00 植野 千鶴子 (三菱重工業株式会社)

108. 馬尿酸高値者多発の特定職場への対応 (第2報) コーヒー等の摂取による影響に関する検討

11 : 12 服部南平 (三菱重工業株式会社)

109. 若年齢層男性勤労者の脂肪肝スクリーニング基準の検討

11 : 24 新島邦行 (スズキ株式会社)

11 : 36 追加討論 (107~109)

B会場

一般演題4：座長 梅津 美香（岐阜県立看護大学） 9：30－10：28

201. セルフケアのための食事チェック票に関する文献的検討

9：30 中村 美詠子（浜松医科大学）

202. がん項目二次検査受診率向上の取り組み

9：42 小島千奈（ブラザー工業株式会社）

203. 産業看護職におけるネットワークの現状と課題

9：54 望月友美子（三菱電機株式会社）

204. Pelvic Incidence の大きさを判別する簡便測定ツールの開発—産業保健に活かすテーラーメイド腰痛予防対策の確立に向けて—

10：06 山田 翔太（名古屋市立大学）

10：18 **追加討論**（201～204）

一般演題5：座長 土屋眞知子（土屋眞知子コンサルタントオフィス） 10：28－11：40

205. 低周波騒音の過剰曝露によるマウスの平衡感覚障害の解析

10：28 小室佳那子（名古屋大学）

206. 脂質代謝異常が影響する乾皮症の解析

10：40 鄧 雨奇（名古屋大学）

207. 三価クロムに曝露した皮なめし工場労働者における腎障害マーカーの上昇について

10：52 土山智之（名古屋大学）

208. 実作業場における3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタンの気中濃度測定方法「ろ過捕集法—高速液体クロマトグラフ分析法」と「固体捕集—ガスクロマトグラフ分析法(GC-MS)」二法の結果比較

11：04 栗田朋人（株式会社東海分析化学研究所）

209. 有機リン系殺虫剤(OP)尿中代謝物網羅的分析法の開発

11：16 野正夏鈴（名古屋市立大学）

11：28 **追加討論**（205～209）

《参加者の皆様へ》

- 今回の地方会学会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて Zoom によるオンラインで開催します。
- 参加費は無料です。事前の参加申し込みは不要です。
- 11月3日(火)13~15時と11月10日(火)18~20時を Zoom 接続テスト日とします。Zoom に不慣れな方のために「参加者向け Zoom 使い方マニュアル」を東海地方会ホームページに掲載しました。ご覧になり、接続テストをしてください。接続テスト日のミーティング ID とパスコードは、学会当日 A 会場のもと同じです。ミーティング ID とパスコードは、後日、全会員に通知します。
- 講演集内容は、11月2日に東海地方会ホームページに公開します。各自ダウンロードしてご利用ください。
- 印刷した講演集は、写真展資料(CD版)と合わせて、後日1000円で頒布いたします。下記の URL (支払方法もご案内してあります) にて申し込みを受け付け中です。早めにお申し込みください。
<https://forms.gle/HVoGh9UjmcfSGpJMA>
- 当学会では講演等の録画をしません。参加者も講演の録音と録画をご遠慮ください。
- 一般演題発表ではセッションの最後に「追加討論」の時間(8~12分)を設けています。
- 個々の発表に対する質問は、発表中および追加討論中にチャットで受け付けます。「質問あり」とご記入ください。

《一般演題の座長および発表者の方へ》

発表時間

- 発表5分前までに入室ください。
- 発表時間は12分(発表8分、質疑応答4分)です。時間厳守をお願いします。
- 座長が演題名と発表者の紹介をした時点を、発表時間の開始とします。
- 発表開始から7分で1鈴、8分で2鈴を鳴らします。
- 質疑応答開始から3分で1鈴、4分で2鈴を鳴らします。
- セッションの最後に「追加討論」の時間(8~12分)を設けています。発表者は、追加質問への回答ならびに発表に関する補足説明などを行うことができます。
- 発表時間の管理は座長のご判断をお願いします。

発表方法

- 動画の使用はご遠慮願います。
- 発表には Power Point をお使いください。
- 1コマ目に、「利益相反」関連情報を明記してください。
- ご自身の発表前に、Power Point ファイルを立ち上げておき、座長からの画面共有の指示の後に操作を始めてください。
- Power Point のページ送りは発表者自身で行ってください。
- 発表が終了しましたら、「発表終わります」などと明確に終了を告げてください。